

行動開始宣言

働く者の命と雇用が危ない！

政府は、「世界で一番ビジネスがしやすい環境」を作り上げるため、働く者を守る最低限のルールさえも破壊しようとしている。

その最たるものが、いくら働かせても残業代を払わなくてよい、いわゆるホワイトカラー・エグゼンプションの導入である。年収が一定水準であれば、働く者の命と健康を守るためにつくられた労働時間のルールを無視して働かせてもよいのか。全く理解できない。

そして、国会では、一旦廃案に追い込んだ労働者派遣法改正案が、再び提出されようとしている。

働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことを断じて許すことはできない。それは、働く者の9割が雇用者で占める“雇用社会日本”の土台を破壊することであり、経済の好循環を逆回転させるものである。

われわれは、連合に結集し、政府に対し以下のことを要求する。そして、全国の地域をつなぎ、すべての働く者とともに立ち上がり行動するよう、職場から呼びかけていく。

一. 働く者の命と健康を脅かす、労働時間規制の緩和は反対！

長時間労働の抑制と「過労死ゼロ」を実現する施策こそ講じるべきである。

一. 「“生涯”派遣で“低賃金”」につながりかねない労働者派遣法の改悪に反対！

派遣労働者の雇用の安定や処遇の改善に向けた法改正を実現すべきである。

一. 働く者の声を聴け！雇用・労働政策に係る議論は、ILOの三者構成主義に則り、労働政策審議会で行われなければならない。

連合大阪は、本集会を起点として、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン第3弾の行動を開始することを宣言する。

すべての働く者の団結で、労働者保護ルールの改悪を阻止しよう！

2014年9月25日

9.25 労働者保護ルール改悪阻止行動開始宣言集会